



8月園だより



令和8年8月吉日 竜之口こども園

気持ち良く晴れ渡った青空、蝉の鳴き声が聞こえ、夏本番を感じます。プールが終わり、園児は夏の自然に触れながら元気に楽しんでいます。

たくさん遊び、いっぱい食べ、しっかり休息を取り、体調の変化に気をつけて暑い夏を元気に過ごしていきたいと思います。



収穫できました♪



さくら組 ピーマン



ばら組 オクラ



もも組 キュウリ



ふじ組 田植え



きく組 なす

今年も各クラス野菜を育てています♪もも組はキュウリ、さくら組はピーマン、ばら組はオクラ、きく組はなす、ふじ組は枝豆を収穫後、田植えを行いました。

水やりをしながら野菜の生長を観察し、収穫できるまでに育っています。

収穫後は、給食室の先生に湯通しや塩もみなどの調理をお願いし、育てた野菜を格別美味しそうに食べていました♪

《9月の予定》

- 1日(火)…1号認定児始業
- 3日(木)…お茶教室(5歳児)
- 10日(木)…お花教室(5歳児)
- 14日(月)…英語教室
- 15日(火)…発育測定
- 17日(木)…避難訓練
お茶会(5歳児)
- 21日(月)…敬老の日
- 22日(火)…国民の休日
- 23日(水)…秋分の日
- 28日(月)…英語教室



「お盆」は、ご先祖様の霊をお迎えし、感謝の気持ちを伝えて供養する日本の伝統的な行事です。

今年のお盆期間は、8月13日(木)～15日(土)です。この期間はご先祖様をお迎えし、先祖供養など、家族でゆっくり過ごしてみたいでしょうか。



《8月の予定》

日	月	火	水	木	金	土
						1 1号認定児夏季休業(～31日まで)
2	3	4	5	6	7 立秋	8 夏祭り
9	10	11 山の日	12	13	14	15
16	17 避難訓練 発育測定	18 英語教室 (2～5歳児)	19	20	21 リトミック (2・3歳児)	22
23/30 23日 処暑	24/31 31日 英語教室 (2～5歳児)	25	26	27	28	29

※行事が変更になる場合があります。

大切なお知らせ

- 平日、土曜日共に勤務終了後は園児のお迎えを最優先でお願いします。
- 土曜保育の申し込みは期限内(毎月20日)にお願いします。
(両親ともに仕事の方が対象です)
- 延長保育を利用される場合は、当日18時までに必ずご連絡をください。
- 通常登園時間よりもあきらかに早い場合や延長保育の場合は、分かり次第事前にお伝えいただきますようお願いいたします。
- 親子の関わりが増えることを願い、毎週水曜日をNO残業デーと推進しています。引き続きご協力をお願いいたします。
- 熱中症対策としてこまめな水分補給を行っています。お子さまの必要量に合わせて、水筒を毎日持ってきてください。スポーツ飲料を薄めたものも可能です。また、雑菌が繁殖しにくいステンレス製の水筒をご使用ください。
- アデノウイルス、ヘルパンギーナ、手足口病等の感染症は登園届が必要です。感染拡大につながらないように医師の判断に従い家庭保育等にご協力をお願いします。

七夕会に参加しました

園児たちは七夕会に参加し『七夕まつり』『おほしまひとつ』の歌を歌ったり、パネルシアターを見て七夕の由来を勉強しました。各クラスの願い事も発表し、一緒に目標に向かって頑張るぞ♪と決意したのでした。

さくら・ばら・きく・ふじ組はカスタネットや鈴、タンブリンや鍵盤ハーモニカを使用し、七夕に関連した曲で歌や合奏を披露しました♪もも組は聞こえてくる歌や音に合わせて体を揺らしたり、膝を屈伸させたりして楽しみました♪



8月のねらい

- 【ふじ組5歳児】
 - ・友だちと協力して目標に向かって頑張ることに喜びを感じ、自信へと繋げる。
- 【きく組4歳児】
 - ・友だちと協力して遊ぶ楽しさを感じたり、行事などに積極的に参加し、達成感を味わう。
- 【ばら組3歳児】
 - ・夏を健康に過ごすための生活習慣を身につけ、身の回りの事を自ら行う。
- 【さくら組2歳児】
 - ・衣服の着脱や食事、トイレなど保育者の声掛けにより、自分で出来ることは自分でしようとする。
- 【もも組(年長)1歳児】
 - ・保育者や友だちと一緒に、水や泥の感触の違いを楽しんだり、冷たい感触の心地よさを味わう。
- 【もも組(年少)0歳児】
 - ・水や水の感触や音など、心地良さを感じながら暑い季節を健康に過ごす。

【夏休みが始まりました♪8月は自由登園です】

日頃より、本園の教育・保育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

園での生活は、お友だちと関わりながらさまざまな経験ができる大切な時間です。しかし、園生活には慣れているものの大人が感じる以上に集団生活で常に緊張感を持ち続け、心と体に疲労がたまっています。日中はエアコンを使用し体調管理には努めていますが、特に暑いこの時期の子どもたちは、長時間の保育が続くと、体を崩しやすくなったり気持ちが不安定になったりするほか、怪我や友達とのトラブルに繋がることもあります。

保育標準時間・保育短時間のそれぞれ利用できる上限時間に関わらず、お仕事がお休みの日や勤務終了後には、園児のお迎えを優先していただき、十分な休息やリフレッシュをしましょう。

園児が心身共に健康で、元気に園生活を送れるようご協力をお願いいたします。